



6年生修了式

6年生は、本日19日(火)をもって6年間の学びを修める修了式を迎えました。学年の代表の人に、修了証を無事手渡すことができました。これは、6年生としての勉強や生活を無事修了しましたという証明書です。修了式では次のような話をしました。「4年生の頃の元気な君たちと、プレハブ校舎で教頭として出会い、6年生ここまで成長し、学校のリーダーとして活躍してくれたことに感謝します。いつも『4つの心』を意識して行動してくれましたが、『4つの心』が生まれた背景には、校長先生が若い頃、背中に大きなバックを背負って世界を旅していたことが原点になります。アメリカニューヨークの地下鉄に乗ったときに、発車寸前にドアが閉まろうとしたとき、白髪の老婆が、乗り込んできました。それを見ていた周囲の人たちは、『間に合ってよかったね。』とみんなで温かい声を掛けていました。たまたまそこに乗り合わせた人間同士が、まるで昔からの知り合いみたいに接しているのです。その時に人種のるつぼのアメリカの強さを感じ、『これだ!』と思って教師になりました。アメリカで学んだことは、国が『自由の国』という方向性を示し、様々な人種の人たちがそれぞれの目標に向かって頑張っています。目標に向かって努力する人には、『共感性』をもって認めてくれます。そして教師になって、目標やめあてを大事にし、『道徳』という共感性によって、子供たちが認め合いながら成長するという、今のスタイルの原点になりました。その後、『心のパズル』を作っ



て、当番・係、委員会活動、集会活動等で、目標をもって実践し、そして振り返り、次の目標をもって努力する、そんな学校づくりをしようと思って取り組んできました。その成果を発揮してくれたのは、目の前にいる皆さんです。本当にありがとうございます。人間という字は「人間(じんかん)」とも言うようにまさしく人の間でしか生きていけません。学校では、様々な人間関係が生まれてきます。そうした関わりを通して、委員会でのリーダーシップ、たてわり班活動など、皆さんの行動が学校を『わくわく』する学校にしてくれました。帯西で学んだ自信や誇りを胸に、様々な人々への感謝の気持ちを忘れず、卒業式という節目に、たくさんの人に「ありがとう」を伝えてください。」

※原稿なしの話だったため、少し違っているかもしれません(^^;

卒業式準備

今日の午後から、次のリーダーである5年生が、6年生の卒業式ために体育館や廊下、教室を掃除したり、花を飾ったりしてくれました。おかげで立派な準備ができました。帯西の次年度のリーダーとしての姿がそこにありました。1年生から4年生は卒業式に出ることはできませんが、Zoomで式の様子は配信します。日頃の6年生とのかかわりから、6年生にもお祝いしたいという気持ちはきっと伝わると思います。

おびにししゅうかいチャンネル 835 0780 5305

ミーティングパスコード 0120